



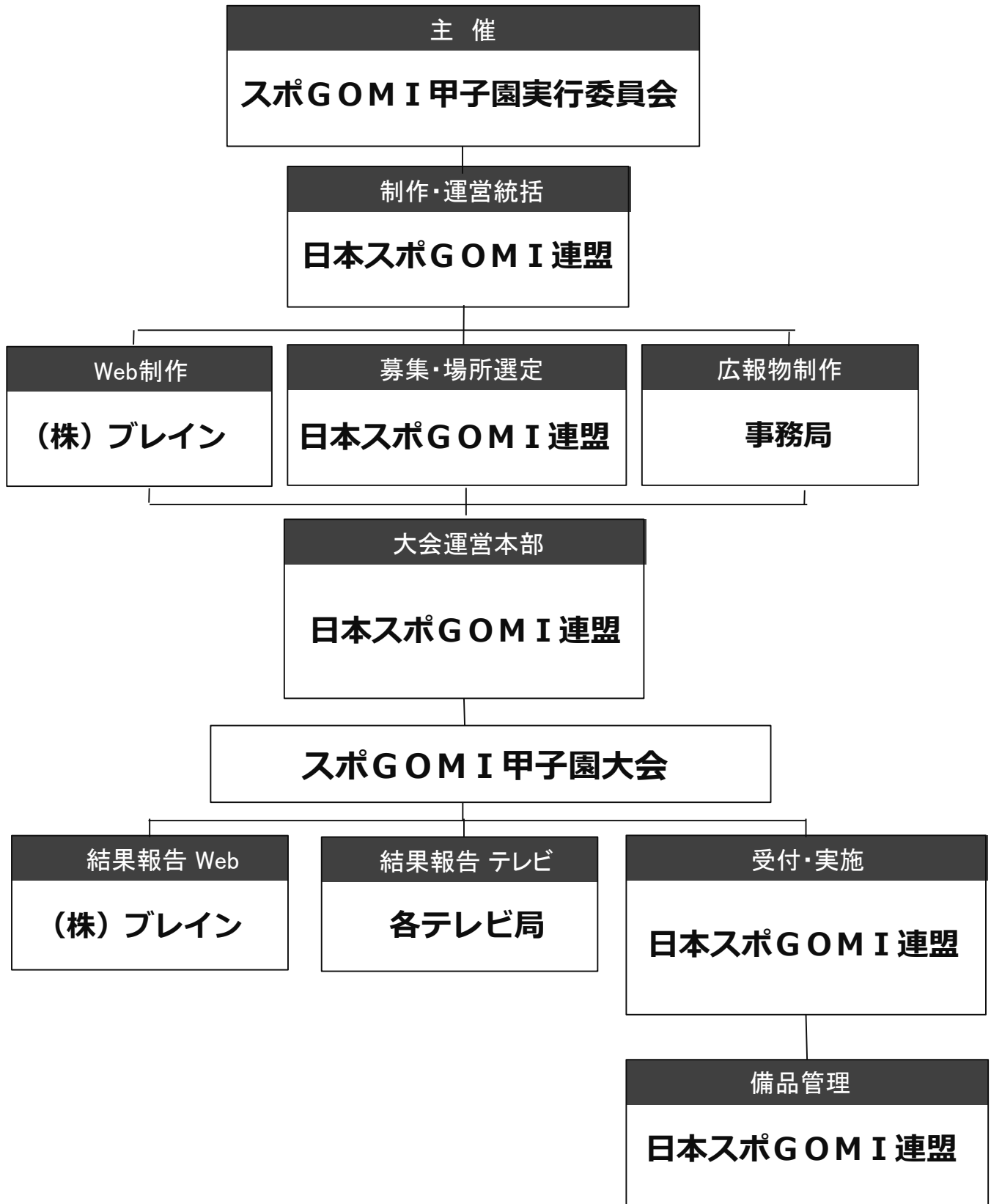
日本財団
海と日本プロジェクト
スポGOMI甲子園 全国大会
運営マニュアル

日本財団 海と日本プロジェクト スポGOMI甲子園 全国大会

- 開催日：2019年9月23日（月）
- 主催：海と日本プロジェクト スポGOMI甲子園実行委員会／日本財団
- 協力：海と日本プロジェクト／ポカリスエット／日本スポGOMI連盟
- 全ての開催地：北海道、青森、秋田、山形、新潟、石川、長野、島根、埼玉、東京、神奈川、千葉、静岡、滋賀、岐阜、三重、兵庫、愛媛、岡山、山口、福岡、佐賀、大分、宮崎、鹿児島
- 時期：県予選 2019年7月上旬～8月下旬まで
決勝戦 2019年9月23日（月・祝）@墨田区役所リバーサイドホール
- 内容：全国25都道府県の高校生を対象として、ゴミ拾いにスポーツ的なルールを盛り込んだ「スポGOMI甲子園」を開催。各都道府県共に10～15校を募集し、各高校3人一組でチームを組む。制限時間の60分で予め定められたエリア内のゴミを拾い、その質と量をポイントで競い合う。各都道府県大会の優勝チームは、9月23日（月・祝）に開催予定の決勝戦へ招待。
- 受付：軍手、トング、ゴミ袋、ルールブックをチーム毎に配布

<タイムスケジュール>

- ・ 9:00 参加者受付開始
- ・ 9:30 開会式
チェンジ フォー ザ ブルーについて（主催者挨拶）
墨田区長ご挨拶
選手宣誓
ルール説明（担当ディレクター）
作戦会議3分
- ・ 9:50 スタート発声 [CHANGE FOR THE BLUE!] ※全員で発声
※競技時間 60分
- ・ 10:50 競技終了／集計
- ・ 11:10 ワークショップ
- ・ 12:10 結果発表
表彰式／大会総括
全体撮影 ※海プロ横断幕
- ・ 12:30 終了

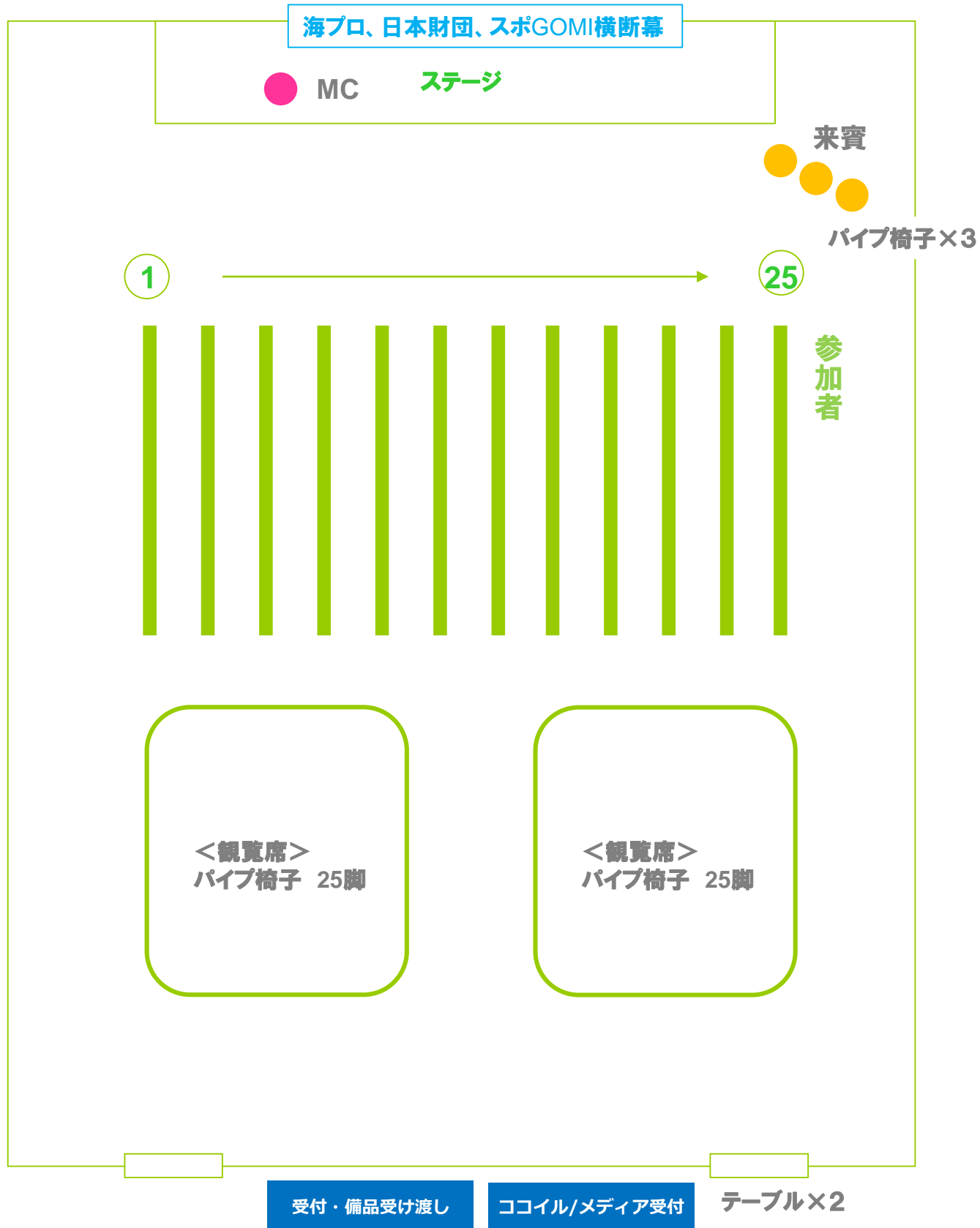


海と日本プロジェクト スポGOMI甲子園 全国大会

■ 開閉会式場所：墨田区役所（東京都墨田区吾妻橋1-23-20）



※受付テント：1張り（例：w2400×d2400）／テーブル2～4台／イス2脚
※簡易マイク&スピーカーセット（もしくは拡声器）



担当者	準備から開会式	競技中	競技終了	備考
マミツカ		ステージトーク	集計→ワークショップ→表彰式	
重原	横断幕→受付準備→受付サポート	計量準備	集計→ワークショップ→表彰式	
能勢	テーブル、椅子設置→トング	計量準備	計量整列→ワークショップ→表彰式	
安部	テーブル、椅子設置→メディア受付	ステージサポート	計量整列→ワークショップ→表彰式	
福留	テーブル、椅子設置→メディア受付	ステージサポート		
IVUSA①	のぼり設置→受付準備→受付	計量準備	計量読み上げ→ワークショップ→表彰式	
IVUSA②	のぼり設置→受付準備→受付	計量準備	計量読み上げ→ワークショップ→表彰式	
ココイルチーム	ココイル準備	ココイル操作	ひよ章式	

○計量時

- ・帰ってきたチーム順に計量機の前に並ばせる
- ・計量の際は分別が出来ていないと計量できないため、分別完了しているか各チームに案内
- ・計量はチームごとに順番に行う。計量補助スタッフは、集計担当の連盟スタッフと連携し分別の種類ごとに計量を行いスムーズな計量を心がける。
- ・計量終了後のゴミは、あらかじめ指定したゴミ置き場に集める

○集計

- ・すべてのチームの計量が終了したら、連盟スタッフは速やかに集計を行い順位を確定
- ・MCへ順位を伝えるとともに、準備してある賞状（優勝のみ）にチーム名を記入

○閉会式

- ・全チーム順位、賞状などの準備が完了しだい、MCによる進行のもと閉会式実施
※進行については進行台本に沿って実施
- ・表彰式終了後、全チームの集合写真を撮影
※海プロのぼり、横断幕と一緒に撮影

○閉会式終了・解散

- ・ごみの回収業者



競技エリアはピンク線で囲ってある地域一帯となります。

60分間の競技時間中であればエリア内のどの方向に進んで行っても大丈夫です。



※隅田川は渡らないでください。河川敷には立ち入らないでください。

- ※一般の方に十分注意する
- ※川に入らない
- ※危険な場所には立ち入らない
- ※私有地には立ち入らない

競技時間は必ず守って下さい。

※100g以下の量でも、ptはつきます。



燃える

紙類、布類、雑誌類、弁当・食品容器包装ごみ
コンビニ袋など

100g → 10pt

※草、落ち葉、枝、家の廃材等は、燃えるゴミとして含まれません。



燃えない

ビニール傘、ガラス類、鍋、フライパン、せともの類、
電池、ライター、鏡、金属類など

100g → 5pt

※小型電化製品(ドライヤー、髭剃りシェーバー)位の大きさのモノはOKです。
それ以上のモノは粗大ゴミ扱い。ブロック、レンガなどは含まれません。



ビン、缶(ドリンク系など缶全て)

100g → 10pt

中身は捨てる。



ペットボトル

100g → 50pt

中身は捨てる。

【小さい袋】

たばこの吸い殻

100g → 50pt

■粗大ゴミについて

★粗大ゴミは、絶対に持ち帰らないでください。

(過去大会であった例)

バッテリー、DVDプレイヤー、扇風機、布団、座布団、ダンボールの束、
消火器、コンクリートブロック、金庫、金属棒、タイヤ、自転車の車輪
マンホール、三角コーン、コンロ、パソコン、ベビーカー、炊飯器

※指定ごみ袋に入らない長さ50cm以上の燃やすごみ、燃えないごみなど)

★粗大ゴミ以外の燃えるゴミ・燃えないゴミの種類で

ビニール傘より長いモノ・ごみ袋に入らない大きいゴミも粗大ゴミ扱いとします。

分別ごとにゴミ袋は分けてください

競技上の主な注意点

参加者は、競技するにあたって自分自身や、

チームメンバー安全に注意を払うこと

(以下、注意点)

- ・川、河川敷には入らない。
- ・止まっている車で、運転手がいる場合は車の前後でのごみ拾いはしない。
- ・車道に身を乗り出してのごみ拾いはしない(発見次第失格)。
- ・交通ルールを守る。
- ・細い道は特に車に注意する。
- ・競技時間・エリアを守る。
- ・走らない。
- ・チームは、まとまって行動する。※先頭と最後尾が10メートル以内
- ・ごみの分別区分を守る。
- ・私有地に入らない。
- ・注射針や川の漂着ごみの液体など危険なものには触れない。
- ・道路などの側溝・ドブ板を持ちあげて、中のごみを拾わない。
- ・スタッフの注意を聞く。
 - 注意を聞かない場合、競技を中止させる場合もあります。
- ・競技中、ケガや事故など発生した場合は、速やかにスタッフの指示を仰ぐ。
- ・粗大ごみは拾わない。
 - 電化製品・バッテリー・タイヤ・自転車・布団・ダンベル等の鉄の固まり
大量の段ボールなど、ごみ袋に入らないものは粗大ごみとみなす。
※判断できない時は、スタッフに確認して下さい

以下のルール違反になるような行為が行われ、何度注意しても守らない場合は減点・失格となります。

種類	内容	減点ポイント
規則に反する行為	支給された用具以外の物を使用する行為	100
	走る行為	
	プレーヤー同士が離れすぎ（先頭と最後尾が10m以内）	
	粗大ごみを拾う行為	
	分別方法を無視する行為	
	故意に重量を増す行為	
競技終了に関すること	競技終了時間を守らない行為	100
	集合しても、本部に報告をしない行為	
	メンバー全員揃って競技終了しない行為	
スポーツマンシップに反する行為	スタッフに逆らうなど、目に余る危険な行為	失格

海と日本プロジェクトでは、海洋環境の悪化などの現状を、子供たちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、海のすばらしさを未来にへ引き継ぐアクションの輪を広げていくことを目指しています。大会の様子は、公式サイトやSNSを通じて発信されていきます。

→参加者の皆さんの写真が、各種メディアに掲載されることがあることをご了承ください

※不都合などある方は事前に申し出てください。

大会中の様子は、参加者の皆さんがご自身のSNSなどを通じて発信していただくことは推奨しています。

→可能な限り、

#海と日本 #umigomi #日本財団 #スポGOMI甲子園
のハッシュタグをつけていただけると幸いです。

皆さんで

「海と日本プロジェクト スポGOMI甲子園」
を一緒に盛り上げていきましょう！

異常発生

異常時は、スポGOMI甲子園ディレクターより
関係各所に速やかに連絡をする。

スポGOMI甲子園 全国大会
ディレクター 馬見塚
TEL.090-5559-6933

本所警察署
TEL. 03-5637-0110

本所消防署
TEL. 03-3622-0119

イベント中止判断基準：
降雨量に関わらず断続的な雨天予報（前日・当日朝）の場合に
事前または当日午前7時に中止判断をします。

■ 事故・ケガ

状況で現場判断し参加者を本部テントまで戻す

判断ができないものは、担当ディレクターへ連絡し指示を受ける

■ 競技時間

熱中症の心配がある様な炎天下時は、担当ディレクターと関係者の競技の上、
競技時間の10～15分短縮を検討する

■ 取材・問合せ

回答可能なものは現場にて対応。不確実な点は後日実行委員会へお問合せいただくか、スポGOMI甲子園公式HPを案内